

平成22年度 第1回 One Book One OSAKA 事業運営委員会議事録

1. 日 時 : 平成22年7月30日(金) 午後1時30分～3時
2. 場 所 : 大阪市立中央図書館 5階 中会議室
3. 出席者 : 別紙「平成22年度 One Book One OSAKA 事業運営委員」参照
4. 会議内容

- ・ 館長挨拶

図書館では子どもが少しでも本好きになってほしいということから One Book One OSAKA 事業を昨年度から実施している。図書館のおすすめというと司書が選ぶことが多いが、子どもを中心とした市民が子ども向けの絵本を選び、選ぶ過程で本に触れ合う機会をもつこと、選んだ後に絵本を題材にイベントをすることがポイント。実施にあたっては皆様方運営委員のご意見をいただき、それを反映しながら実施していきたい。昨年の実施等に関する意見や改善案などの発言を期待している。

- ・ 委員紹介

- ・ 議事

- (1) 「大阪市 One Book One OSAKA 事業実施要綱」について

(別紙「大阪市 OneBookOneOSAKA 事業実施要綱」参照)

- ・ 実施要綱第3条第3項(3)に則り、運営委員の互選により運営委員長・副運営委員長を以下のとおり定める。

運営委員長…渡邊 裕美子氏 (東淀川区) …前年度から継続

副運営委員長…上田 道代氏 (浪速区) …前年度から継続

- (2) 「大阪市 One Book One OSAKA 事業」について

- ・ 平成21～22年度のこれまでの経過

(別紙「One Book One OSAKA 事業のこれまでの経過」参照)

- (3) 今後の事業・関連イベントについて

- ・ 絵本講座・世代間交流事業実施計画

※ 一覧は一例。企画案があれば各館へ。

【参考】

→市長の OneBook 発表会の読み聞かせDVDについて

本事業のPRで活用する際は、地域館を通じて貸出可能

→絵本『はらぺこあおむし』…事業用複本あり。各館で貸出可能

→大型『はらぺこあおむし』絵本…11/8以降貸出可能（予定）

- ・ 子ども運営委員会・夏休み合宿について

（別紙「夏休み図書館合宿あんない」参照）

- ・ 子ども運営委員より、イベント検討案発表

- ・ 秋の One Book 関連イベント企画(案)について

（別紙「関連イベント企画案参照」）

- ・ 第2回 One Book One OSAKA 事業運営委員会（3月開催予定）

（4）部会の設置について

- ・ 企画PR部会

昨年度発足した「予備選定部会」は、「企画PR部会」に統合することとしたい。理由は、市民の投票結果そのものが「予備選定」にあたり、昨年度の予備選定部会では、投票促進に関わるPRについての議論が中心だったため。

メンバーは運営委員のみに固定せず、部会開催の都度、地域館を通じて図書館のボランティアへ広く参加の声かけを行う。

【部会の内容】

- ・ 投票用紙の開票作業とともに、ホームページ上に掲載する投票用紙のお気に入りの理由の文章を選定する作業や、関連イベント等の企画を行う。
- ・ 各区での取り組みについては、『One Book One ○○区』などの実施例も視野に入れ検討する。

（5）感想・意見

【広報について】

- ・ 3月の子ども読書活動推進連絡会で、PTAの広報紙に本事業のPRを掲載しても良いとの話がPTA協議会より出ていた。

→ 2学期の小学校への投票用紙一斉配付の時期に併せて、P T A 広報誌への掲載依頼を行う。

- ・ 4/23（子ども読書の日）の One Book 発表会開催日に、One Book 決定について、プレス発表や図書館ホームページ掲示、ポスター配付を実施するも、協力をお願いした小学校や保育所などの施設へのご報告は翌月以降と出遅れてしまい、事務局としては反省している。第 2 回の取り組みにおいては、関係機関への One Book 決定後の広報にも力を入れていきたい。

【投票用紙配布先について】

- ・ 中学校の生徒も随分絵本を読む。小中連携し、総合の時間に小学校の子どもに絵本の読み聞かせを実施している学校もある。市立小学校全校に投票用紙を配布したように、市立中学校全校に投票用紙を配布することは難しいとは思いますが、モデル校として、図書館活性化に取り組んでいる中学校や、図書館担当や国語担当、読書部、図書部等のクラブ活動の担当の先生にも渡すなどして、興味のある子に手渡してもらえる機会を作ればよいのでは。
- ・ 中学校でもボランティアが図書館活性化に携わっている学校がある。読むこと、話すこと、伝えること等は言語力の育成にも繋がっており、One Book One OSAKA 事業の拡がりによって本への興味が生まれ、地域とも繋がっていくこと等が大切だと考える。

【地域での周知等】

- ・ はぐくみネットの委員会で本事業の P R を行った。「One Book One ○○小学校」を決めるなどの取り組みをしてみたいが、小学校の先生方の開票作業への負担感があると思う。はぐくみのネットワークで開票作業の手伝いも行えばどうかと思っている。
- ・ つどいの広場事業をしており、おおさか子育て応援フェスタで、子育て情報コーナーの一環として、One Book の P R を目的とした投票コーナーの設置を予定している。絵本を介して町のなかで繋がりができたらよい。

- ・絵本展を実施するにあたって、子どもに絵本を作ってもらって展示することを計画している。絵本作りの前に、絵本を読んでもらう時間を設定し投票にも参加してもらいたいと考えている。
- ・絵本の読み聞かせ等の催しの際に、お母さんたちへ **One Book** の投票を呼びかけている。図書館以外の施設でのおたのしみ会等の場合は、施設側に投票用紙をお渡しすることに関して了解を頂くことが必要。
- ・幼稚園や保育所でも投票用紙を設置しているが、幼稚園や保育所へ通っていない場合は、子育て支援センター等を通じて周知可能。今年度（8月）から子育て支援センター等地域子育て支援拠点事業実施施設において、ブックスタート事業が行われるようになり、保育所や幼稚園を利用していない方にも広く、**One Book** 事業のお知らせが出来るようになった。
 - ブックスタート実施施設にも投票用紙の配付を検討。
- ・0-3歳対象の民間のつどいの広場もたくさん開設されたので、つどいの広場にも、本事業を周知すれば良いのでは。在宅で子育てをされている母親も巻き込んで、というのは重要。

【イベント】

- ・地域図書館で、はらぺこあおむしのイベントも予定しているので、借りられる小道具等を教えてほしい。
- ・読書週間のある秋は、各区でのイベントが目白押しの時期、中央図書館で、**One Book** にちなんだ大きなイベントを実施するなら、各区でのイベントと重ならないほうが、子どもをたくさん呼べるのではと思う。
 - 各区でのイベントと重ならないよう、日程変更を検討。

【事業実施全般について】

- ・学校での取り組みなどで学力向上等、教育的視点がエスカレートするのはどうか？楽しみながら取り組むことが肝要。
- ・地域図書館でボランティア活動をしているのに、**One Book** が何に決まったかも市長が読み聞かせをしたことも知らなかった。本事業の目的は何なのか、1冊を決めてどうするのか、意識して参加されている方は

よいが、価値がわからないと投票もしにくいし、他の人を巻き込んで進めていくのは難しいかも。

- ・第2回の **One Book** も同じ本が1位になったらどうするのか？と心配する意見も出ているが、私はそれでも良いかなと思う。こだわらず好きな絵本を自由に選ぶのがよい。
- ・第3回目までで **One Book** の募集を終了する計画とのことだが、3年やそこらで答えは出ない。長く継続して本事業を続けて欲しい。
- ・**One Book** に決定した1冊の絵本にこだわらないということが大事だと思う。各区で絵本展など実施されるなら、**One Book** の投票の上位ランキングに挙げた絵本は是非展示して欲しい。1位に決まった1冊を全面的に押し出すのではなく、自分が選んだ絵本がここにある、ということに意義がある。多くの絵本を紹介する機会をつくることこそ重要。

副館長挨拶

4/23 市長が読みきかせ後に「子どもの反応もよくて、いい絵本は力がある」とおっしゃっていた。**One Book** 事業は皆で楽しむ機会。運営委員のご意見やアイデアをいただいて進めていく。今後とも大阪市の読書支援を皆さんのご協力やご支援を賜り進めていきたい。